

第123号

平成30年9月号

社協だより



社会福祉法人 笠岡市社会福祉協議会

〒714-0098

笠岡市十一番町15(電話)62-3507(FAX)62-3590



災害支援ボランティアの活動

写真提供:笠岡市役所企画政策課

岡山県災害義援金受付中

7月初旬に広い範囲で豪雨による被害が発生しました。笠岡市内では7月5日～7日の累計雨量363ミリを記録し、市内では土砂崩れが相次いだ他、北川地区を中心に床下・床上浸水など甚大な被害が出ました。多くの方が被災され、今なお不自由な生活を強いられています。

被害を受けた方への援護の一助として現在、様々な団体で義援金などの受付が行われています。笠岡市社会福祉協議会では岡山県共同募金会を窓口とした義援金の受付をおこなっています。

◆募集内容

名称・・「平成30年7月豪雨岡山県災害義援金」
募集期間・・平成30年12月28日まで
義援金振込先・・

① 中国銀行

本店営業部(普)35338946

② ゆうちょ銀行

009606311322

口座名義・・岡山県共同募金会
平成30年豪雨災害義援金

③ 岡山市農業協同組合

本所(普)0040942

口座名義・・社会福祉法人
岡山県共同募金会

現金の場合・・笠岡市社会福祉協議会まで
持参ください。

この度の支援活動に、ボランティアの他、大勢の方からご寄付ご協力をいただきました。7月末時点で、団体からのご寄付9団体、軽トラ等車両の貸出5団体、備品の貸出1団体、また支援物資として、市内外から多数の個人、団体の方から支援をいただきました。誠にありがとうございました。

この広報紙は、共同募金の配分金の一部で作られています。

ホームページアドレス <http://kasaoka.or.jp/>

最新情報や福祉用具リサイクル情報の詳細はホームページをご覧ください。

多くのご支援・ご協力を いただきありがとうございました



写真提供: 笠岡市役所企画政策課

ニーズ受付	104件 ※当日現場で受付 対応したものは除く
ボランティア	655人 (7月末時点)

☎ 62335007
FAX: 62335900

場所: 笠岡市社会福祉協議会
(笠岡市十番町15)

笠岡市社協では、7月9日から災害ボランティアセンターを立ち上げ、家屋の片付けなどの相談受付や現地での活動者の連絡調整などを行いました。連日猛暑での作業となりましたが、笠岡市内在住の方を中心に日本全国から大勢のボランティアさんが駆けつけてくださいました。

また、個人・団体・企業の皆様から多くの支援物資を頂きました。物資は被災された方にお届けした他、ボランティア活動にて活用させていただきました。ありがとうございました。

社会福祉協議会ではボランティア活動保険の手続きや災害時に活動してくださるボランティアさんの登録を常時行っています。(登録用紙はホームページからもダウンロードできます)また社協支部の役員・福祉委員等による訪問活動もおこなっています。

認知症をともに考える市民フォーラム2018開催します

住み慣れた笠岡で
笑顔で暮らす

笠岡市認知症介護研修センターでは、今年度から、認知症当事者が主体となつて相談をつける場『オレンジドア』を開設しました。次回、9月29日に第2回目のオレンジドアを開き、同日に市民フォーラムを開催します。それぞれ無料で参加できます。

☆フォーラム

日時

9月29日(土) 14時開演
15時30分終演予定
(13時30分開場)

会場

笠岡市保健センター
ギャラクシーホール

(笠岡市十番町1-3)

講師

◆オレンジドア代表

丹野 智文氏

◆歌手

沢 知恵氏

☆オレンジドア

日時

フォーラムと同日10時〜12時

会場

笠岡諸島交流センター

(笠岡市笠岡2435番地の2)

聴き手 丹野 智文氏

第9回 かさおかハートフル社会福祉大会開催

標記大会が8月25日(土)に笠岡市保健センターギャラクシーホールで開催されました。

笠岡市内の福祉分野で活躍する団体が一堂に会し、情報を共有するとともに、地域福祉推進の中で先駆的または、継続的に取り組んでいる方の表彰を行いました。

この大会は、笠岡市全体での福祉意識の高揚を図っていき、地域における公私協働のささえ合いの活動を広めていくことを目標としています。

また併せて、市内福祉活動実践事例を紹介し、地域福祉についての講演を行いました。

(内容)

授賞式

事例発表

・医療法人社団 きのこ会
・医療法人 緑十字会

基調講演

「笑って健康、笑って長生き」

落語家・医学博士

立川 らく朝 氏



立川 らく朝 氏

受賞者

(表彰)

藤井里枝様

坂本千恵様

金藤尚文様

樋上和江様

津田千世子様

上笹和美様

増成富久子様

和田初子様

向井悦子様

星合建子様

渡邊奈美子様

西原サカ工様

岡崎百合枝様

久保千賀子様

牧野千明様

筒井清人様

棕梨孝章様

原田道恵様

川内素子様

原田恵美子様

藤澤美穂様

小川順子様

中塚三規子様

野元英治様

山本榮則様

大角裕子様

三宅忠信様

高田明子様

小林広子様

宮本憲男様

和田ツルヨ様

森山幸子様

谷本ヨウ子様

(感謝)

細川光子様

河田弥生様

社協大島支部の活動紹介

大島は瀬戸内海国立公園の一角「御嶽山」を真ん中に、東・中・西の三地区が連携して「向こう三軒両隣、困った時はお互いさま」を合言葉に各種行事に取り組んでいます。

現在は、ほぼ全域で健康体操をはじめ、歌声、ゲーム、グラウンドゴルフなど健康な心身を保ち、楽しく明るい人世を過ごせる大島づくりに、公民館、まちづくり協議会などの皆さんとの協力支援で活動しています。

高齢独居暮らしの方が増える地域で、週間二回のサロンは参加者を元気にしています。

大島は、まちづくり協議会のとりくみが盛んです。毎週の食事(有料)を含むサロン(プログラム多種)、車の送迎お出かけサービス(有料)など、地域で各種団体、会員が一体となり、「住んでよし、暮らしてよし、子育てよし」の地域づくりには、社協支部も努力して行きたいと思っています。



原田 毅 支部長



グラウンドゴルフ



歌声サロン



百歳体操

地域包括支援センター

お問い合わせ
笠岡市地域包括
支援センター
☎(08665)
62-66662

残暑が厳しく全国的に熱中症で救急搬送される方がまだまだおられます。
熱中症予防のためにも、こまめな水分補給をしてください。

介護予防シリーズ②回目 「地域をのぞいてみよう &お知らせ版」



笠岡市内で68か所目となる会場です。
公会堂のリフォームを行い、地域住民が集まりやすい会場となりました。
今までは、石砂公会堂に参加していましたが、名切公会堂が始まってからは、今まで参加できなかった方も来られ、「近くで体操が出来て嬉しい」との声も聞かれます。

大島 名切地区

いきいき百歳体操の
新しい会場が
増えました!!

お誘いあわせのうえにご参加ください。

日時：平成30年9月28日(金)
13時30分
場所：笠岡総合体育館
対象：いきいき百歳体操自主グループから6名程度
内容：活動表彰・活動紹介
「いきいき百歳体操」と
その「シ

いきいき百歳体操 介護予防交流会

笠岡放送 放送時間

6時30分
7時30分
9時30分
13時30分
15時30分

7月9日から笠岡放送にて、いきいき百歳体操が放送されています。
ぜひ、お家でも体操を楽しんでください。

いきいき百歳体操の 放送がはじまっています

顔 (Face)



顔の片側が下がる
歪みがある

腕 (Arm)



手(と足)に力が
入らない

言葉 (Speech)



ろれつが回らない

暑い時期は脳梗塞の発症率も高くなります。脳梗塞には早めの判断が重要です。

介護予防講座 「暑い時期は、 脳梗塞に注意」

これらの症状が1つでもある場合、**脳梗塞の兆候かも!?**

〈認知症サポーター養成講座〉

包括支援センターでは、高齢者に住み慣れた地域で安心して生活して頂く為に、認知症について普及啓発を行っています。

その中の一つとして「認知症サポーター養成講座」を行なっています。今年度すでに講座を受講していただいた方々の感想などを紹介します。

◆申し込み方法◆

市内在住、在勤、在学の方で5人以上のグループから申し込みできます。

希望の2か月前にお申込み下さい。

◆申し込み先…笠岡市地域包括支援センター

☎62-66662



ネットヨタ山陽

○同じ事を聞かれることに
対して何回も優しく言っ
てあげられるか考えた。
○認知症の人と接する際
は、優しい声かけができる
ように心がけたい。



ここのしま荘・天神荘

○寸劇もあり、楽しく受講
出来た。
○とても分かりやすい講座
○職場では認知症の方もお
られるので、今回学んだ
事を活かして接したい。
○初めて認知症を知る人に
も分かりやすい。

認知症一口メモ

◆認知症の段階によって、現れる症状は異なっています。生活上ではどんなことに気を付けるとよいのでしょうか？
ポイントをご紹介します。



時々、電化製品やガスがうまく使えなくて、少し心配なんよ。
通帳や財布を探したり、薬の飲み忘れも増えた気がするんよ。

ご家族や周囲の方

△ご家族は、本人さんが困っていることはないか、定期的に生活状況を確認し、困ったことは相談窓口にお問い合わせしましょう。
△かかりつけ医の受診は定期的に継続し、気になることがあれば、ご家族から医師に伝えましょう。
△ご家族や周囲の方は接するときの声かけや対応の方法を理解し、ご家族で介護について話し合う機会を設けましょう。

「認知症ガイドブック」から抜粋

ご本人

△人と会う機会を大切に。
自分で出かけることが難しくなったら、利用できる支援やサービスを活用して交流の機会を持ちましょう。
△趣味や家庭内での役割など、できることを続けましょう
△困ったことは周囲の人に伝えましょう。

高齢者虐待について

みんなで防ごう

高齢者虐待を防ぐには、「早期発見早期対応」に尽きます。

ここでは介護をしている方、地域の方でできることをそれぞれお伝えします。

介護をしている方の場合

○介護や認知症について正しい知識を持つ
高齢者の行動には意味があります。何故行動が起こっているのかを理解する事が必要。

○一人で悩まずに相談を

介護期間が長くなればストレスもそれだけ増えます。友人や知人もしくは専門機関（病院・包括）へ相談を行い、一人で溜めこまない事が必要。利用できるサービスや制度があります。

地域の方の場合

○おかしいと感じたら早期に専門機関へ連絡を行う

地区の民生委員や包括支援センターなどに、早急に連絡を行う。親族が虐待を行っている場合、高齢者が被害を訴えない事が多く、発見が遅れることがあります。

○さりげない心配りや見守り

何気ない挨拶や会話を普段から持つ。普段からやり取りをしている事で、高齢者や介護者の出すシグナルを感じ取る事が出来る。その言に救われます。

高齢者虐待を発見した人は、笠岡市地域包括支援センターに是非ご一報ください。

高齢者虐待防止法第7条により、特に生命や身体に重大な危険がある場合には、通報を義務付けられています。

通報を頂いた方の秘密は守られますので、ご連絡の程をよろしくお願い致します。

ボランティア

連絡協議会活動

7月20日(金)にNPO法人すみれ会の夏祭りが開催されました。ボランティア連絡協議会からは会所属の7団体から2名ずつ参加し、おでんや助六寿司、アイスクリームを販売しおかげ様で完売！

また夏祭りのプログラムも盛りだくさんで楽しませていただきました。



笠岡手引きの会

6月30日(土)笠岡市保健センターギャラクシーホールにおいて、笠岡手引きの会20周年記念事業としてドキュメンタリー映画「もうろうろを生きる」の上映会を開催しました。

当日は超満員という多くの観客を集め、改めて目と耳の両方に障がいのある「もうろうろ」者への理解を深めました。

こうした中

でこの事業に

ご協力をいた

だきました多

くのボランティ

ア、関係者の皆

様には心から

感謝申し上げます。



第66回 対面朗読会

老人福祉セン

ターにおいて5

月27日、梶谷福祉

基金のご協力の

下、第66回笠岡音

訳の会对面朗読

会が、利用者様

(視覚障がい者)

やその御家族、会

員、関係者ら80余

名の参加で盛大に開催されました。

午前中は会員5名による輪読 山本

「力著」八つ花「ごよみ」より「佃町の菖

蒲」と講師による朗読、昼食はチーム

クローバーさんが目の不自由な方に

も食べやすいようにとお心づくしの

弁当。食後は「コーヒー」を頂き、岡山で

ご活躍のコーラスグループ、ラポー

チエによる美しい歌声を楽しみまし

た。

利用者様から「生の声での朗読や

生演奏はやはり

いいものだ。この

対面朗読会がと

ても楽しみで

す。」との声を頂

き、次回に向けて

新たな意欲が

湧きあがる楽し

い一日となりました。



夏のボランティア 体験実施

体験実施

夏のボランティア体験は市内の社会福祉施設や地域のボランティアグループなどでの体験を通じて、社会福祉についての理解を深めると同時に、さまざまな出会いのなかから、新しい発見やボランティア活動について考える事業です。

今年度は中学生や高校生など約200名が市内の医療・高齢者・障害者・児童・地域・ボランティア団体の5分野、43か所に分かれてボランティア体験を行いました。参加者からは「とても勉強になった」、「またボランティアを行いたいと思った」などの感想が多数聞かれ、各自有意義な活動に取り組みました。活動先事業所の皆様本当にありがとうございます。

日中一時支援事業所 わかば園

暑い日が続く中、子どもたちが楽しみにしていた夏休みがやって来ました。

水あそびが楽しい季節ですが、た

くさん遊んで、いつぱ

い食べてそしてしっか

りと休息を取りなが

らからだの変化に気

をつけつつ、暑い夏を

元気に過ごしていき

たいと思います。



赤い羽根共同募金

への協力をお願いします

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。皆様の募金をもとに地域のさまざまな福祉活動の充実に繋げ「じぶんの町を良くするしくみ」づくりを推進していきます。

皆様のあたたかいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

災害準備金

募金の一部を災害準備金として積み立て、災害ボランティアセンターの設備や運営へ助成を行っています。

笠岡市老人クラブ連合会 7月27日 ピンポン大会 開催しました！

突然の豪雨災害で一時はどうなるかと思いましたが、無事に今年も開催することができました。

例年よりもひどい暑さですが、参加者の皆さんはとてもいきいきと楽しそうに競技を通じてお互いの交流を深めていました。



ありがとうございました

平成30年5月1日～平成30年7月31日(敬称略)
※掲載についてご了承いただいた方のみ、お名前を記載させていただきます。



満中陰志

亡妻 馬上英雄(園井)	亡父 七川修治(三番町)	亡父 原田友博(入江)
亡夫 太田里美(茂平)	亡父 吉山京子(四番町)	亡夫 松浦安子(大耳)
亡母 増成俊郎(西大戸)	亡母 佐藤達海(押撫)	亡父 増成仁(篠坂)
亡夫 大橋富江(笠岡)	亡母 榊原賢江(富岡)	亡父 角南尚登(二番町)
亡母 小林広子(中央町)	亡母 笠原 功(富岡)	亡母 西川(大島中)

一般寄付

三宅 真一(玉野市)

歌仲間どんぐり会

じんせき

歌仲間どんぐり会様 ご寄付ありがとうございます

6月24日に
開催された
「第10回どん
ぐり会カラオ
ケ発表会」で
の寄付金を寄
贈していただ
きました。



JFEスチール(株)様 ご寄贈ありがとうございます

2018JFE西日本フ
ESTAインかくやまのリサ
イクルバザーの売り上げか
らNPO法人すみれ会ヘワ
ッフル&ホットサンドベーカ
ー等の寄贈を頂きました。
JFEスチール(株)様は毎
年社会福祉へ深いご理解と
ご協力を頂いています。



笠岡市社会福祉協議会 平成29年度決算報告 及び 平成30年度予算

(単位 円)

収入内訳	29年度決算	30年度予算	支出内訳(事業別)	29年度決算	30年度予算
会費収入	8,091,000	8,200,000	法人運営	8,183,406	14,081,000
寄附金収入	3,698,948	2,500,000	地域福祉	32,555,746	32,806,000
経常経費補助金収入	44,742,728	52,268,000	権利擁護	12,107,647	11,013,000
受託金収入	161,769,390	179,689,000	貸付事業	3,953,039	5,152,000
貸付事業収入	909,000	1,185,000	地域包括支援センター	131,342,151	139,723,000
事業収入	9,917,577	8,914,000	居宅介護支援	15,991,879	16,309,000
負担金収入	451,000	451,000	訪問介護	22,556,357	27,787,000
介護保険事業収入	66,843,970	64,614,000	その他福祉	28,092,634	38,292,000
障害福祉サービス等事業収入	1,407,750	1,496,000	共同募金	6,266,949	6,417,000
受取利息配当金収入	21,137	24,000	老人福祉センター	11,095,428	12,578,000
その他の収入	458,870	365,000	保健センター	18,206,078	18,566,000
基金積立資産取崩収入	89,899	1,207,000	サンライフ笠岡	13,332,038	14,011,000
事業区分間繰入金収入	40,243	1,574,000			
拠点区分間繰入金収入	12,004,434	12,640,000			
前期末支払資金残高	44,227,295	46,749,000	当期末支払資金残高	50,989,889	45,141,000
収入合計	354,673,241	381,876,000	支出合計	354,673,241	381,876,000

サンライフ笠岡特別講座のお知らせ

◆押絵「お花」

(日) 時 9月20日(木)
9時～15時

(参加費) 3,000円

(持参物) 昼食、新聞紙、布用はさみ、
目打ち、爪楊枝、手芸用ボ
ンド、手拭き

(締 切) 9月13日(木)

◆心も体もリフレッシュヨーガ

(日) 時 10月13日(土)
13時30分～15時30分

(参加費) 500円

(持参物) バスタオル、タオルが手ぬ
ぐい、飲み物、動きやすい服
装、(ヨガマット貸出6セッ
トあり)

(締 切) 10月9日(火)

◆ちりめん「干支 いのち」

(日) 時 10月30日(火)
9時30分～12時

(参加費) 500円

(持参物) 裁縫道具、ボンド
(締 切) 10月22日(月)

◆押絵「干支 いのち」

(日) 時 11月29日(木)
9時～15時

(参加費) 3,000円

(持参物) 昼食、新聞紙、布用はさみ、
目打ち、爪楊枝、手芸用ボ
ンド、手拭き

(締 切) 11月21日(水)

◆ちりめん「干支 いのち」

(日) 時 12月5日(水) 13時30分～15時30分
(参加費) 1,600円

(持参物) 鉛筆、ハサミ、平筆、新聞紙、手拭き、
のりを入れる容器

(締 切) 11月26日(月)

※応募者少数の場合、講座を中止する場合が
あります。

※申込み問い合わせ先

サンライフ笠岡 ☎63-11533

第7回福祉をきえる講演会

姿勢と筋肉をあきらめない！
健康寿命の延伸に向けて第2弾



講師 松平浩 先生
東京大学医学部付属
病院22世紀医療セン
ター運動器疼痛メデ
ィカルリサーチ&マネジ
メント講座特任教授

◆日 時 10月20日(土)
13時30分～15時30分
(開場13時)

◆場 所 笠岡市保健センター2階
(笠岡市十二番町1-3)

◆参加料 無料

◆定 員 500名

◆お問い合わせ (社福)天神会 法人本部

☎(0865)67-4122

FAX(0865)67-6121

お気軽にお問い合わせください。

民謡講座発表会

◆日時 10月28日(日) 12時半開演

◆場所

笠岡市保健センター

ギヤラクシーホール

(十一番町1-3)

◆入場無料です

ことぶき大学受講
生が日頃の練習の
成果を披露しま
す。たくさんの方
様の来場をお待
ちしています。



食品を譲って下さい

社協では、食品ロスへの取組みと
して、フードバンクフードドライブ
活動をおこなっています。食品を廃
棄するのではなく、食べ物を必要と
している方やサポートしている団
体に、無償で提供し、活用する活動
です。

もし、ご家庭で消費出来ない食材
や食品等がございましたら、社会
福祉協議会までお持ちください。

ご提供いただきたい主なもの

穀類(米・麺)・保存食品(缶詰・瓶詰
等)・インスタント・レトルト食品・飲
料類※未開封で賞味期限が明記さ
れ1か月以上残っているもの。
※生ものは受け取れません。

福祉用具をリユースしませんか

ご自宅で使わなくなった福祉用具・ベビー
用品を必要な人にお譲りする活動をしてい
ます。譲りたいもの、譲ってほしいものがござ
いましたら、社会福祉協議会までお問い合わせ
してください。HPでもご覧いただけます。

◆ゆずってください

電動車いす、介護用ベッド、ベビー用スケール

◆ゆずります

ポータブルトイレ、大人用紙おむつ、杖、チャ
イルドシート、ベビーカーなど多数

着られなくなった制服をおゆずりください

市内の小・中学校の制服でサイズが小さくな
り着られなくなった制服がございましたら
おゆずりください。

(問合せ) 社協 ☎62-35507

ふれあいほのぼの相談

民生委員、ソーシャルワーカーなどによる
介護相談、生活相談などの一般相談をおこ
なっています。「話す」という少しの勇気で変
わることもあります。お気軽にご相談。

①民生委員による相談受付

毎週木曜日10時～15時

②社協職員による一般相談受付

平日8時30分～17時15分

無料法律相談

弁護士による無料法律相談

先着順での受付です。予約はお早めに。同
じ方からの相談は、1年に1回となります。

毎月第3金曜日 14時～

要予約 ☎62-35507

※1人30分以内